

TOSHIBA 東芝CD-BGM演奏装置取扱説明書

対象機種

BGM-8100

EIA 2Uサイズ

このたびは東芝CD-BGM演奏装置をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのCD-BGM演奏装置を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは必ず保存してください。

目次

項目	ページ
本機の特徴	2
正しく使っていただくための注意事項	2～3
各部のなまえとはたらき	4～5
接続のしかた	
(1) アンプとの接続	6～7
(2) テープ式BM演奏装置との組合せでの接続	8～9
(3) 連動動作の接続	9
(4) スタート、ストップ入力を使った外部からの制御	10
(5) 時計同期入力の接続	10
ディスクカートリッジとディスクの種類について	11
時刻・曜日のあわせかた	12～13
演奏のしかた	
(1) 手動(マニュアル)演奏	13～15
(2) MMカードによる演奏	15～17
その他の操作(内蔵時計の確認のしかた、曲の演奏時間の確認のしかた)	17～18
マイク放送とフェーダーつまみの使いかた	19
エラー表示について	19
ロッカーアンプ、デスクアンプへの組み込みかた	19
AGCスイッチについて	20
修理サービス	20
仕様	21
外観図	22

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

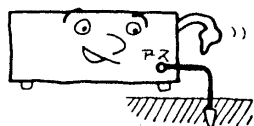
本機の特徴

- 本機は業務用 CD-BGM 演奏装置です。業務用としての使用に耐えられるよう、耐久性、安全性に優れた設計となっています。
 - 使用するディスクは CD-BGM *1 規格に従っていますので、多チャンネル・長時間・高音質・高速アクセス・長寿命・高信頼性をもった演奏ができます。ディスク 1 枚で 4 時間（CD-BGM モードステレオ演奏各 1 時間×4 チャンネル）モノラルでは最大 8 時間（8 チャンネルの場合）の演奏ができます。
 - 専用のディスクカートリッジを付属していますので CD-DA（市販の CD）による演奏も可能です。
 - 演奏モードは、連続演奏、シャッフル演奏（ディスクの中に入っている曲順を順序不同に演奏）の選択ができ、MMカード（ミュージックメモリカード）を装着することにより、お客様のご要望に応じた多彩なプログラム演奏ができます。
 - EIA 規格のロッカーに収納して使用できます。（2Uサイズ）
 - 外部機器の接続ができます。
 - マイク入力、外部入力を装備しています。
ディスクを再生中に、マイクや他の BGM 演奏装置等の外部機器からの音声をミキシングすることができます。外部から音声等が入った場合、ディスクの演奏音は自動的にフェードアウトします。（音量がフェーダーつまみで設定した音量まで下がります。）
 - コントロール端子を装備しています。
スタート入力、ストップ入力、動作中出力、ストップ出力、CMスタート出力、親時計入力の 6 つのコントロール端子を備えていますので、本機を外部機器から制御したり、本機により外部機器を制御することができます。
 - 停電してもプログラムは消えません。
本機には 10 日間の停電補償機能があります。停電しても 10 日間は停電前のプログラムや設定を記憶していますから、停電復帰後すぐに放送が再開できます。
 - AGC（オートゲインコントロール）内蔵（20 ページ参照）
各ディスク間の音量のバラツキを小さくするための回路を持っています。
この回路により、複数の CD-BGM による連動動作や CD の交換により音量を改めて調整する必要が少なくなります。内部のスイッチにより AGC のかかり具合を 3 段階（OFF、-10、-20dB）に切換えられます。（出荷時 -10dB）
- *1 CD-BGM 規格とはオランダ PHILIPS 社から提案のあった CD-1 規格を BGM 業界用に変更し制定されたものです。そして CD-BGM 規格に基づいて製作されたディスクが CD-BGM ディスクです。
- * MMカードとは、本機に使用する専用の IC カードのことでミュージックメモリカードの略称です。

正しく使っていただくための注意事項

■特にご注意を

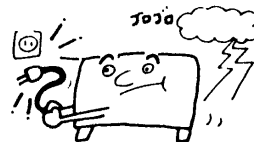
- 必ずアースをしてからご使用ください。
事故防止のため、必ずアース端子から大地にアースをとってからご使用ください。



- ヒューズは必ず指定容量のものをご使用ください。
ヒューズが切れたときは、その原因を取り除いてから指定容量のヒューズと交換してください。



- 雷が近くに感じられたら、電源プラグを抜いてください。
雷が近く、落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。万一近くに落雷したときでも部品に高電圧がかかるのを防ぐこととなります。

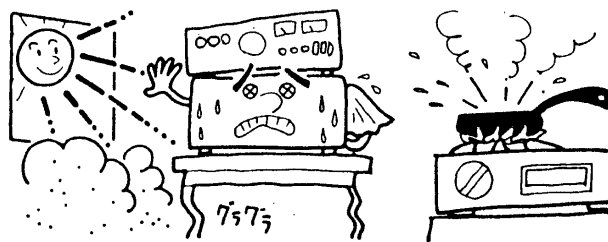


- セット内部には触れないでください。
セットを改造しますと電気用品取締法に抵触するおそれがあります。また故障の原因ともなります。



■設置場所のご注意

- 風通しの良い、ホコリの少ない、温度、湿度の低い所に設置してください。
- 直射日光の当たる所、ストーブのような熱器具の近くまたは、調理台の近くで油煙や湯気の当たるような所は避けてください。
- しっかりした台の上に水平に設置してください。
- 他の演奏器の下に設置しないでください。
- 電波障害により音質に影響を受けることがあります。ラジオやテレビを近くに置かないでください。

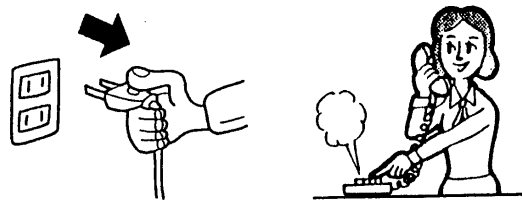


■停電補償のご注意

- 本機の停電補償機能は、内蔵のバックアップ電池により時計部分の通電を継続するタイプです。従って初回電源投入時より24時間を経過しない状態では、内蔵バックアップ電池が満充電にならないので停電補償時間を補償できない場合があります。

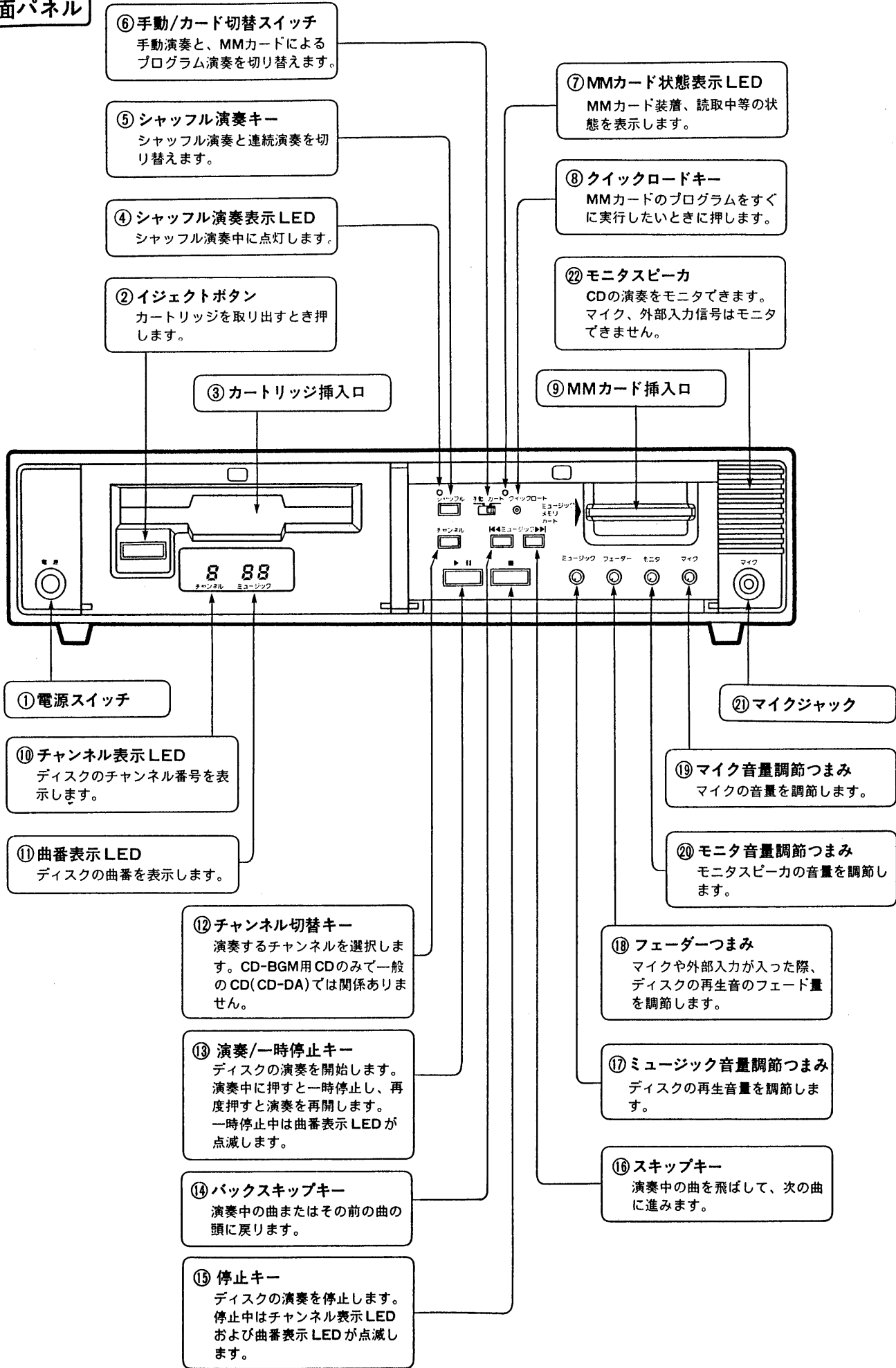
■その他のご注意

- 輸送時について
輸送時には必ずディスクカートリッジを本体より取りはずしてから輸送してください。
- 結露について
寒いときにヒーターなどをつけた直後などは、セット内部のレンズに水滴がつき、正しく動作しないことがあります。この場合はディスクカートリッジを取り出して約1時間ほど放置しておいてください。正常に動作するようになります。
- お手入れ
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少しふくませた柔らかい布で拭いた後、から拭きをしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。
- 音量セッティングについて
コンパクトディスクはレコードと比べ非常にノイズが少なくなっています。レコードをかけるかのように、ノイズで音量の設定をすれば思わぬ大出力が出てスピーカを破損する恐れがあります。演奏の始めは必ず音量を最小にしておきましょう。
- 異常や不具合が起きたときは、電源を切り電源コードを必ず抜いてすぐにお買いあげの販売店または東芝お客様ご相談センターへご相談ください。

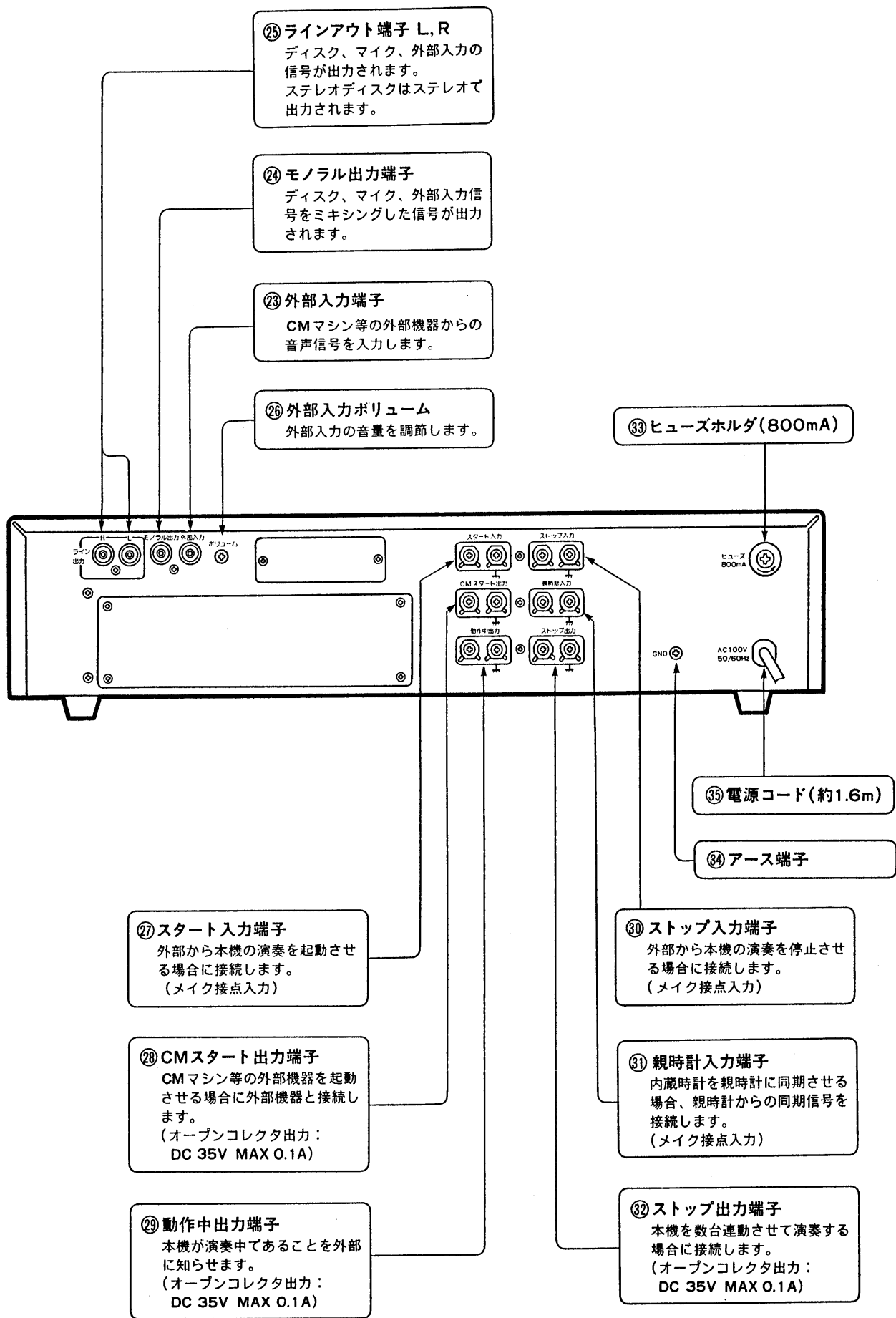


各部のなまえとはたらき

前面パネル



背面パネル



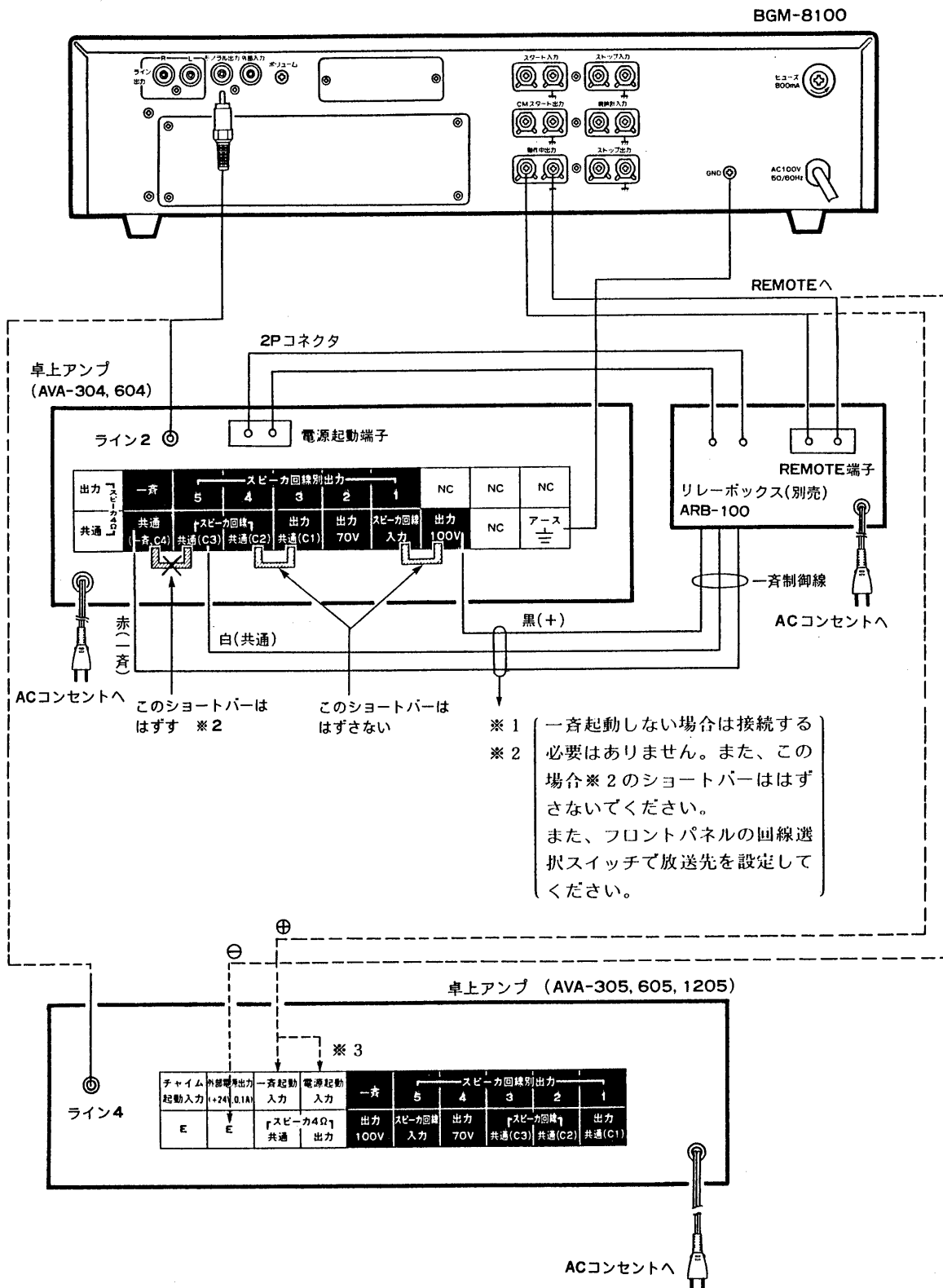
接続のしかた

(1) アンプとの接続

本機のライン出力はステレオ (R, L) とモノラル (R+L) の2種が用意されています。

ご使用の外部アンプに合わせて接続してください。

- 卓上アンプで一斉放送する場合の例



■ その他の機器の接続について

下表と、それぞれの機器の取扱説明書をご覧になって接続してください。

品名	形名	起動端子	チャイム信号入力	放送先
ロッカーアンプ	ALF-1500~1R	ATB-510R TB802	APE-510R(非常操作パネル)	(一斉または プログラムによる)
	ALF-2000~1R	予備起動-共通	J608 入力	
	ALM-1501	ATB-300 TB1101	APM-301(業務操作パネル)	APS-510,520にて 選択した回線
	ALM-2001	リモコン起動-共通	ライン2 入力	
壁掛防災アンプ	AWF-1000R,RA	一般外部起動-業務 COM	一般外部 ⊕ ⊖	一斉またはプログラム
	AWF-1000D	リモコン - 業務 COM	一般外部 ⊕ ⊖	一斉
	AWF-1000K	リモコン起動-共通	ラインまたはリモコン入力 ⊕ ⊖	一斉
	AWF-1000E	起動-共通	外部入力 ⊕ ⊖	一斉
壁掛業務アンプ	AVA-60W, 120W	一斉起動-E	ライン 2 ~ 4	一斉
デスクアンプ	ADA-1003~3003	チャイム起動-共通	チャイム ⊕ ⊖	一斉

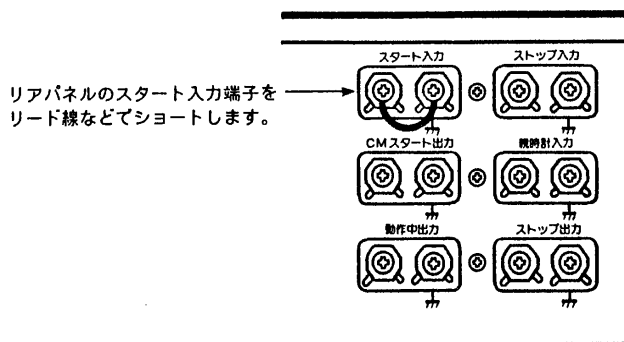
■ 動作中出力端子と外部機器の制御と接続でのご注意

- (1) 動作出力はオープンコレクタ出力で許容電圧、電流は DC 35V 0.1A です。
オープンコレクタ出力ですので極性があります。外部機器との接続では ⊕ ⊖ を間違えないようにしてください。(配線に使用する線材は色分けすることをお勧めします。)
- (2) 各操作モードでの動作中出力の状態

モード	操作内容	曲	動作中出力端子の状態
手動 (操作ボタン)	演奏/一時停止キーを押す	曲演奏開始→ 演奏中	High → Low Low を保持
	演奏/一時停止キーを押し 一時停止状態にする	曲一時停止	Low を保持
	再度演奏/一時停止キーを 押す	曲再演奏 開始	Low を保持
	停止キーを押す	曲停止	Low → High
手動 (外部制御)	スタート入力メーク (1秒以上)	曲演奏開始 演奏中	High → Low Low を保持
	ストップ入力メーク (1秒以上)	徐々に音量をしばらく ながら9秒で演奏停止	停止後 Low → High
MMカード	プログラム演奏開始5秒前	曲演奏前	High → Low
		曲演奏中	Low を保持
	プログラムによる停止	曲停止	Low → High

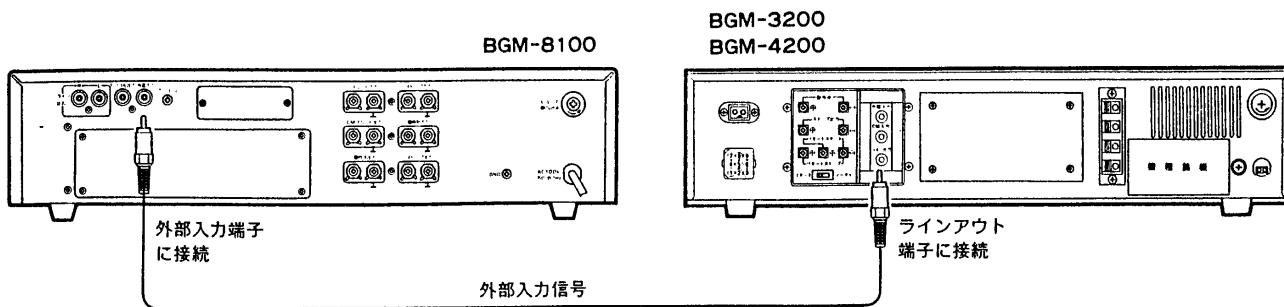
■ オートスタートの接続 (手動モードのみ)

手動モードでは電源スイッチを入れると自動的に演奏を開始 (オートスタート動作) させることができます。図のようにスタート入力端子間をショートしてください。



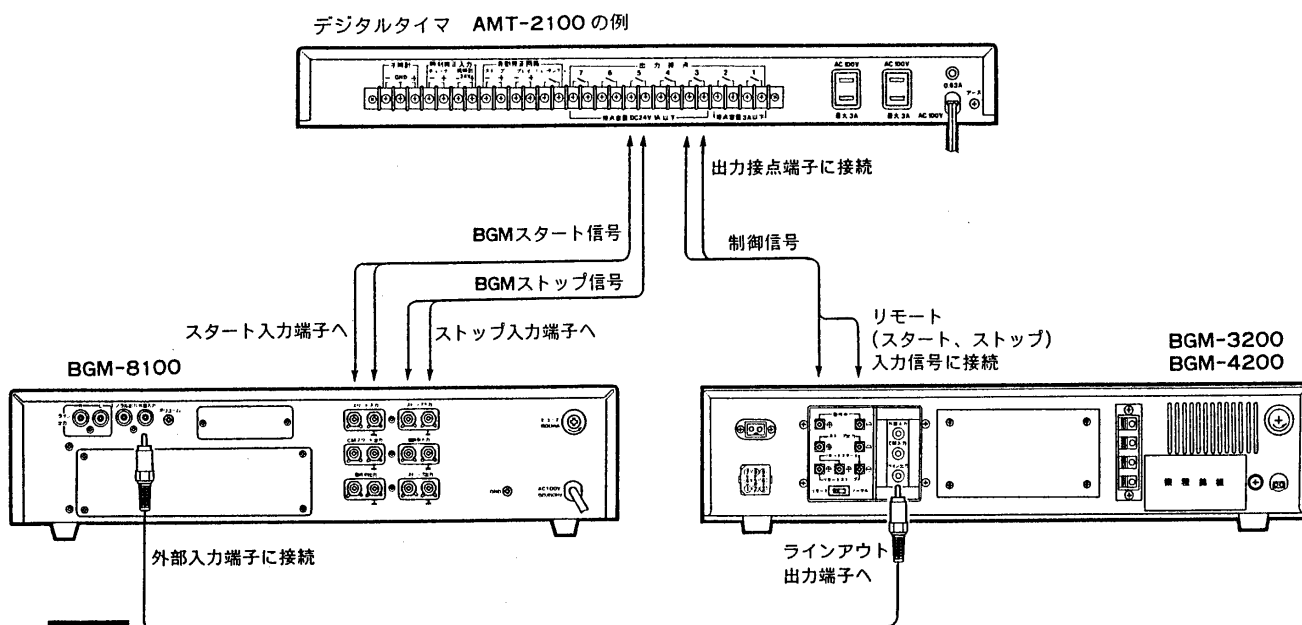
(2) テープ式BM演奏装置と組み合わせて使う場合の接続

① CD-BGMを流しながら他のBGM装置からの間けつ放送をするときの接続



- 外部入力端子へBGM(外部入力) 信号を加えることで、外部入力が優先しフェーダーがかかります。

② デジタルタイマで複数のBGMを時間管理するときの接続

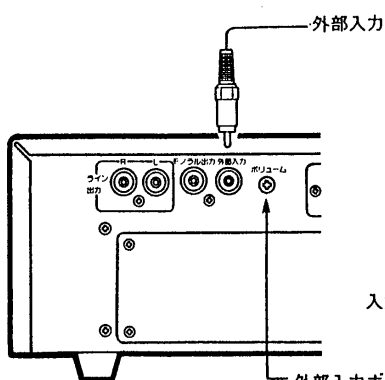


ご注意

当社デジタルタイマ AMT-2100 などに本機やBM演奏装置を接続してBGMやマイク放送を時間管理するとき、各タイマの出力接点との接続は上図のとおり、決められた端子にきちんと接続してください。

- コントロール端子には極性があります。+、- 正しく接続してください。
- スタート、ストップ入力信号はメーク信号で1秒以上メークしてください。(パルス)
- 本機動作(タイマコントロール)の場合⑥手動/カード切換スイッチは手動にしてください。

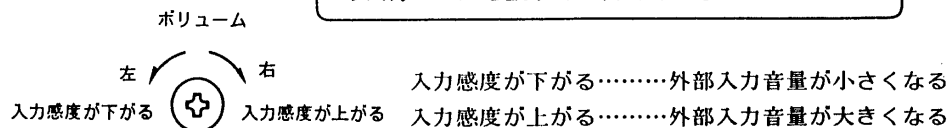
■ 外部入力について



- 外部入力はモノラル端子です。外部入力に信号が入ると、自動的にディスクの再生がフェードアウト(オートフェーダー)されます。

ご注意

外部入力がきわめて小さいときは、オートフェーダーがかかりにくくなります。このようなときは外部入力の入力レベルを上げてご使用ください。



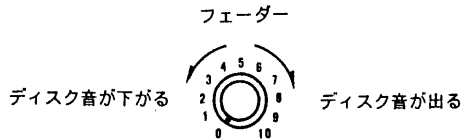
外部入力ボリュームはθドライバー(小)で調節してください。

■ ミュージック音量調節つまみについて

- ミュージック音量調節つまみは、演奏しているディスクの再生音をラインアウト出力、モノラル出力、パワーアウト出力に対し調整できます。ただし、外部入力の音量は変化しませんので外部機器との音量バランスは、外部入力ボリュームか外部機器のボリュームで調整してください。

■フェーダーつまみについて

- フェーダーつまみはマイク信号と外部入力が入ったとき、ディスクの再生音をどのくらい下げるか（フェードアウト量）のつまみです。



- 左いっぱいではディスク再生音は出なくなります。

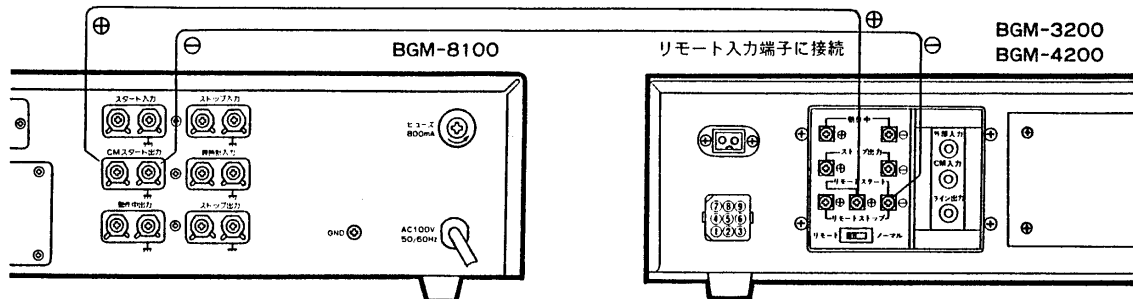
■モニタスピーカについて

- 内蔵モニタスピーカは、演奏しているディスクの再生音を、ラインアウト、スピーカ出力に関係なくモニタすることができます。モニタ音量はモニタ音量調節つまみで調節できます。ただし、マイク入力、外部入力はモニタすることはできません。

■プログラムカードによる外部機器への接続（MMカードモードのみ）

- 本機ではMMカードのプログラムにより、外部機器の起動制御をすることができます。

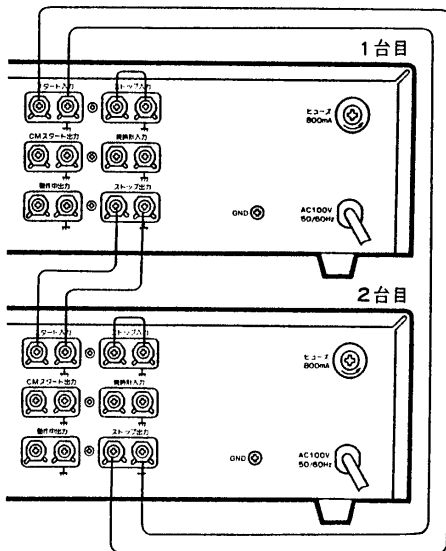
(例)



- CMスタート出力端子を外部機器のリモートスタート入力端子につなぎます。
 - MMカードプログラム 指定の時間に、1.5秒間のオープンコレクタ出力をONさせます。
- ※ MMカードのプログラムについての詳しい内容についてはBGM協会会員社（別紙一覧表）にご相談ください。

(3)連動動作の接続のしかた

CD-BGMを2台、3台と接続し、長時間の連続演奏をするときには、下図のように接続してください。また、接続のときには関係している全てのCD-BGMの電源スイッチを「切」にしてから作業を行なってください。



- 1台目のCD-BGMのストップ出力端子と、2台目のスタート入力端子を接続します。
- 2台目のストップ出力端子と1台目のスタート入力端子を接続します。
- 最後に両方のCD-BGMのストップ入力端子を、それぞれショートさせます。

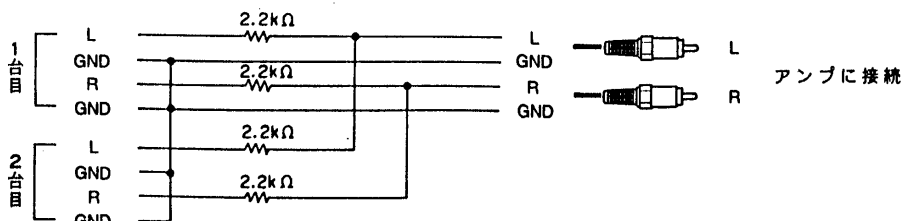
ご注意

- 極性に注意して接続してください。
- 3台、4台とつなげるときも同様に、ストップ出力端子を次のスタート入力端子に接続し、最後のCD-BGMのストップ出力端子を、1台目のスタート入力端子に接続し、つなげたCD-BGMの全てのストップ入力端子をショートしてください。
- 手動/カード切換スイッチ⑥を「手動」側にセットしてください。

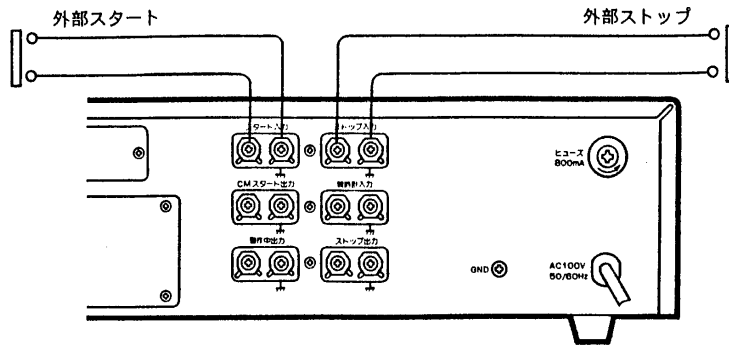
■アンプへの接続方法

CD-BGMを数台つなげて使用するときには、下図のようにライン出力に抵抗を入れて、2台の出力レベルを同一にして、アンプと接続します。

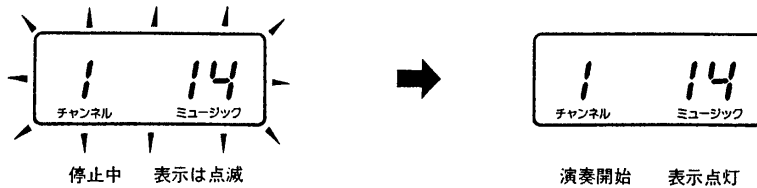
ライン出力をまとめることにより出力が低下し、音量が下がります。数台接続したときは、本体のミュージック音量調節つまみ⑰で音量を調整してください。



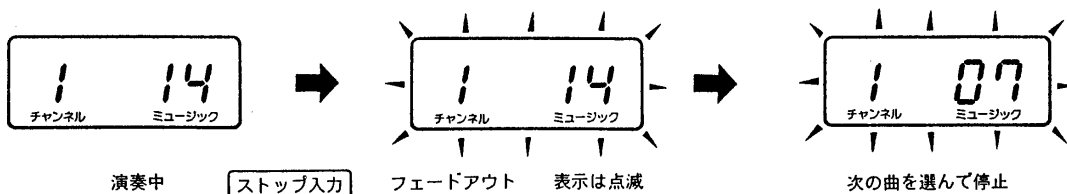
(4) スタート入力・ストップ入力を使った外部からの制御



① BGM-8100のスタート入力端子に1秒以上の [LOW] パルスが入ると表示している曲の演奏を開始します。



② BGM-8100のストップ入力端子に1秒以上の [LOW] パルスが入ると演奏中の曲をフェードアウトした後次に演奏する曲番号に進んで停止します。このフェードアウト中表示は点滅します。

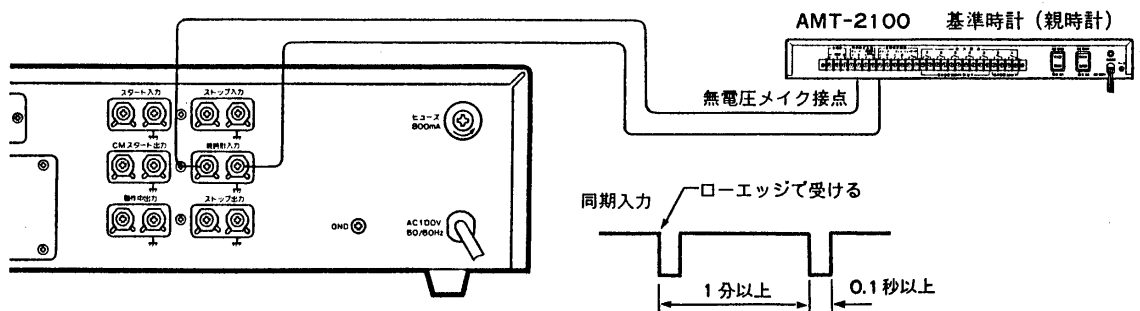


ご注意

- (1) 入力は無電圧メイク接点またはオープンコレクタ接点を用い、1秒以上のパルスを入れてください。
- (2) ストップ入力受付後のフェードアウト時間は約9秒です。
- (3) ストップ入力受付後の次の曲は連続演奏時は次の曲（例：1チャンネル4曲目の次は1チャンネル5曲目）、シャッフル演奏時はそのチャンネル内でまだ演奏していない曲を選びます。チャンネル内全て演奏した場合は次のチャンネルに移ります。

(5) 親時計入力の接続

- 本機は内蔵時計で動いていますが、他の時計（タイマ等）と同期を取ることができます。
- 無電圧メイク接点を使う例



ご注意

- 本機の内蔵時計は30秒補正方式です。1回の補正には1分以上の時間間隔をとって同期を取ってください。
- 時計同期入力端子は直接過電圧、過電流を加えないようにしてください。
- 親時計と同期をとるときは親時計側に無電圧メイク接点が必要です。また同期信号は、1日に1回MMカードのプログラム演奏時間外に出力されるように設定してください。

ディスクカートリッジとディスクの種類について

■ディスクカートリッジについて

本機は ディスクカートリッジに、ディスクを収納して使用します。

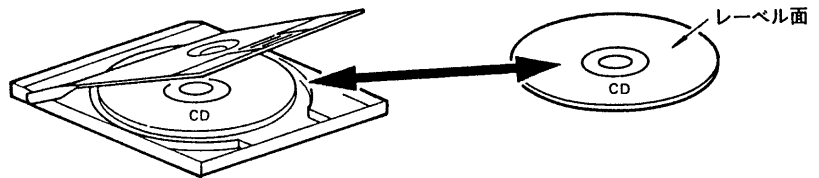
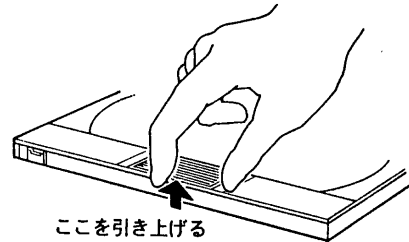
ここではディスクカートリッジの取扱などについて説明します。(本機には、カートリッジ1ヶ付属)

1. ディスクカートリッジの特徴

- ①ディスクカートリッジに収納することにより、ディスクをホコリやゴミ、傷などから守ることができます。
- ②ディスクカートリッジはCD ケースの大きさと、カートリッジごと保存できるので、保存スペースも少なく済みます。

2. ディスクの交換方法

- ①ディスクカートリッジのフタを開けます。ロックがががっていますが右図の位置を強く手前に引くと開きます。
- ②ディスクを取り出し、交換します。
ディスクを取り出すときは、ディスクの中心の穴に手を入れて取り出してください。
新しいディスクのレーベル面を上にして入れてください。
(ディスクカートリッジの予備は別にお買い求めください。サービス部品扱い 部品コード 26390001)



- ③ディスクカートリッジのフタを閉めます。カチッと音がするまで押すとロックされます。

■ご注意

- 交換時に、ディスクの記録面には触れないでください。
- 高温、多湿、直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。カートリッジに変色やソリが発生することがあります。



■コンパクトディスクの種類と表示について

本機で演奏できる12cmコンパクトディスクの種類には3つあります。その種類によりチャンネル表示⑩や曲番表示⑪が異なります。(下記説明は、カートリッジ挿入後の停止状態を表わします。)

規格	説明	表示
CD-BGM フォーマット (日本BGM協会規格品)	<ul style="list-style-type: none"> ●チャンネルナンバー、ミュージックナンバーを点滅表示します。 ●チャンネル、ミュージックが自由に選択でき、シャッフル演奏もできます。 	
CD-DA フォーマット (一般に市販のCD)	<ul style="list-style-type: none"> ●ミュージックナンバーのみ点滅表示し、チャンネル表示しません。 ●ミュージックのみを選曲したり、シャッフル演奏したりできます。 	
CD-BGM フォーマット (曲番なしDISK)	<ul style="list-style-type: none"> ●チャンネルナンバーのみ点滅表示し、ミュージックナンバーは00を表示します。 ●チャンネルの選択はできますが、ミュージックの選択はできません。 	

■ご注意

- 8cm CD をアダプタを使用しカートリッジに入れて使用することは音とび、エラー発生の原因になりますのでおやめください。

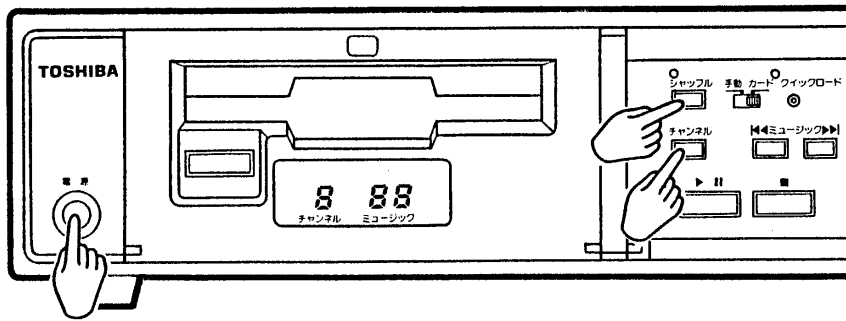
時刻、曜日のあわせかた

本機は時計機能を内蔵しており、この時計機能により自動演奏やその他の操作の時間がすべて管理されます。ご使用になる前に曜日、時間、分を合わせてください。また、一度時刻の設定をしたら10日間以上の停電や電源スイッチを切ったり電源コードを電源コンセントから抜いてしまわない限り時間設定は狂いません。はじめに正しく設定してください。(MMカードを使用しない場合は設定の必要はありません)

■設定方法

●フロントパネル上部の“PUSH”を軽く押し、パネルを開きます。

(1) “シャッフル”と“チャンネル”キーを同時に押しながら電源スイッチを入れます。

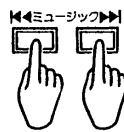
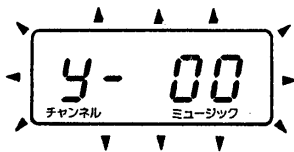


(2) 表示部に“y-00”と表示され点滅しています。“y”は曜日の“よ”を表わします。“00”は、何曜日を数字で表した値です。(下表参照)

“スキップ”キーを押すと“00”から順番に“06”まで変わり、もう一度押すと“00”に戻ります。

“バックスキップ”キーを押すと逆戻りします。下の表に従って本日の曜日を設定してください。

*例えばここで02(火曜日)と設定します。

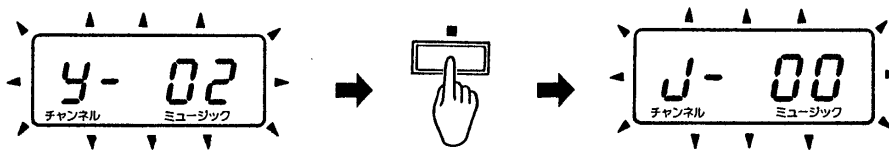


曜日	設定値
日	00
月	01
火	02
水	03
木	04
金	05
土	06

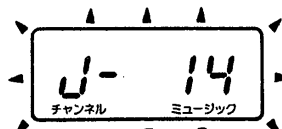
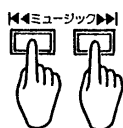
(3) 曜日を合わせたら“停止”キーを押します。

すると“j-00”と表示され点滅しています。

“j”は時間の“じ”を表わします。“00”は何時かを表わします。



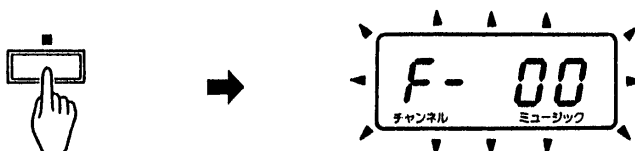
(4) “スキップ”キーを押すと“00”から最大“23”まで表示されますから現在の時間を設定してください。



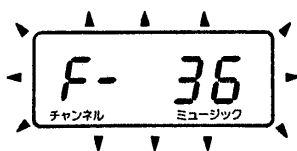
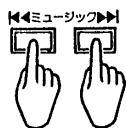
*例えばここで14時と設定します

(5) 時間を合わせたら“停止”キーを押します。すると“F-00”と表示され点滅しています。

“F”は何分の“ふ”を表わします。“00”は何分かを数字で表わします。



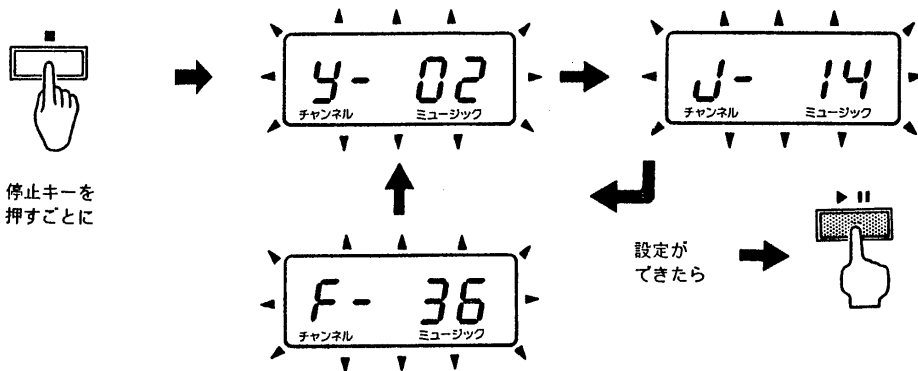
(6) “スキップ” キーで “00~59” まで変わりますので現在の時間を設定してください。



* 例えばここで 36 分と設定します

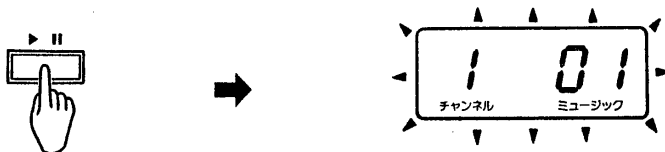
(7) もう一度 “停止” キーを押すことにより “4- 02” に戻り再度押すと “J- 14” “F- 36” とループしますのでもし設定を間違えたときは、この要領で訂正してください。

表示を確認し、曜日、時間、分の設定が全て正しければ “演奏/一時停止” キーを押します。



(8) “演奏/一時停止” キーを押すことにより曜日、時間、分の設定が確定され、それと同時に時刻設定のモードから通常モードに戻ります。また “演奏/一時停止” キーを押したとき “00” 秒から始まりますのでご承知ください。

“演奏/一時停止” キーを押すと下の様に表示が変わり点滅します。これで時刻の設定ができました。



ご注意

時刻設定時に “4- 00” “J- 00” “F- 00” と表示するのは過去に時刻設定がされていない場合や、10日間以上電源が供給されていないで、内蔵時計のメモリが消えている場合のみです。

従って時刻設定時に “00” を表示しないことがあります。

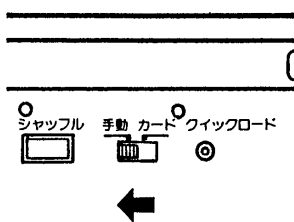
演奏のしかた

(1) 手動演奏 (マニュアル)

■ 連続演奏

連続演奏は、ディスクに収められている全チャンネル、全曲を曲順どうり繰り返し演奏します。

(1) 手動/カード切替スイッチを手動側に切り替えます。



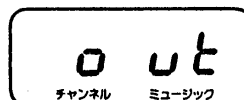
(2) ディスクカートリッジを入れてください。

(3) 演奏/一時停止キー (▶||) を押してください。演奏を開始します。

●「接続のしかた」に従って予め必要な接続を済ませてから操作を始めてください。

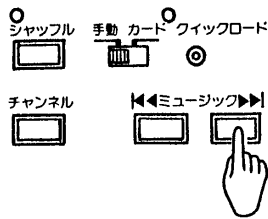
●ディスクカートリッジを入れると、約10秒間でインシャライズ (ディスク情報を読み込む) します。

ご注意 ディスクカートリッジが入っていませんと **out** と表示されます。



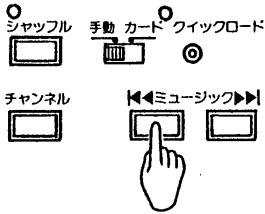
表示部に表示されている曲の演奏を開始し停止キーが押されるまで演奏を続けます。

■ 次の曲を聞くには



- スキップキーを一度押すと現在聞いている次の曲を演奏します。
チャンネルの最後の曲を演奏中に送りキーを押すとそのチャンネルの1曲目を演奏します。

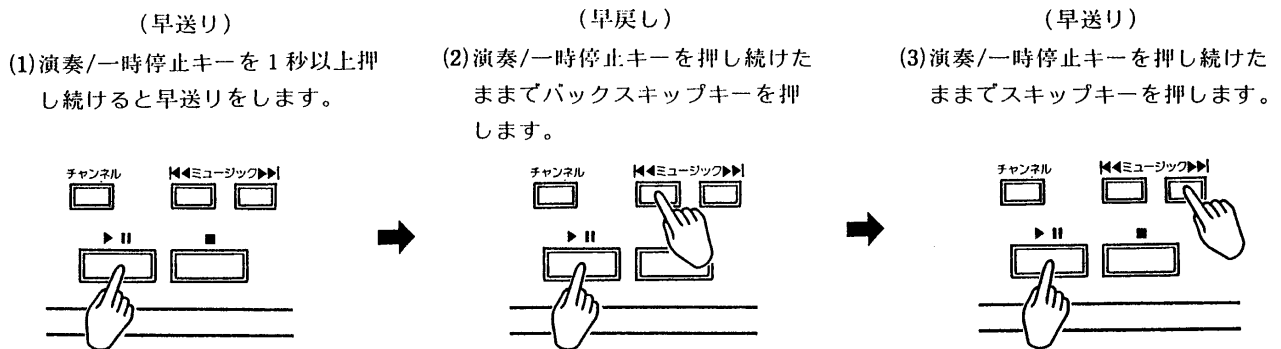
■ 前の曲を聞くには



- バックスキップキーを一度押すと演奏している曲の頭に戻り、もう一度押すと一曲前の曲に戻り、以降は何度押しても前の曲、前の曲に戻り演奏して行きます。
チャンネルの初めの曲まで来たときもう一度押すとそのチャンネルの最後の曲を演奏します。

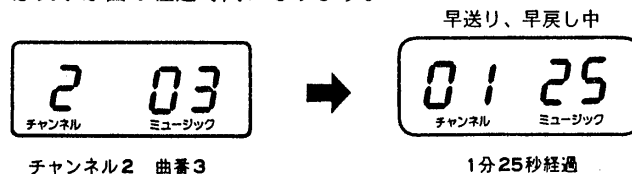
■ 早送り・早戻しをするには

- 本機はマニュアル演奏中、曲中の早送り、早戻しができます。
- 早送り、早戻しのしかた



ご注意

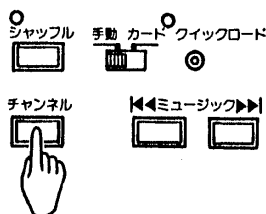
- (1) 演奏から一時停止にするときは演奏/一時停止キーを押して1秒以内にキーを離してください。
- (2) CD-DA(市販のCDディスク)では早送り、早戻し中音が出ますがCD-BGMフォーマットのディスクでは音は出ません。
- (3) 早送り・早戻し中は表示が曲の経過時間になります。



- (4) 早送り中にディスク(チャンネル)の最後にきたときは、ディスク(チャンネル)の頭に戻ります。
- (5) 曲番無しディスクを早戻し中チャンネルの頭にきたときは、その場で一時停止状態になります。その他のディスクでは、ディスク(チャンネル)の最後の曲の終わりに飛びます。
- (6) プレイキーを離すと通常の演奏に戻ります。
- (7) 停止から演奏、一時停止から演奏させたとき(ミュージック表示部の曲番が点滅中)は演奏/一時停止キーを押し続けていても早送りにはなりません。一旦手を離してから演奏/一時停止キーを押してください。

■ チャンネルを替えるには(CD-BGMディスクのみ)

- チャンネルキーを押します。

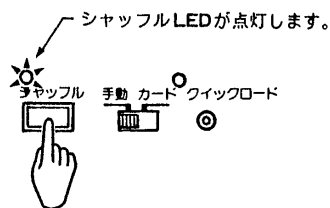


- チャンネルキーでチャンネルの選択をします。再生中、停止中のどちらかの状態でもキーは有効です。一度押すと次のチャンネル、もう一度押すとその次のチャンネルに替わります。
- 例えば2チャンネルの4曲目を演奏中にチャンネルキーを押したときは3チャンネルに移り、3チャンネルの最初の曲から演奏を始めます。

■ シャッフル演奏

シャッフル演奏は同じチャンネル内の全ての曲を順序不同に演奏する演奏方法です。チャンネル間は同一チャンネル内の曲を全て演奏後、まだ演奏していないチャンネルをランダムに選んで演奏します。

(1) シャッフルキーを押します。



(2) シャッフル演奏を中止するときにはもう一度シャッフルキーを押します。

- 連続演奏中または停止中どちらでもシャッフルキーを受け付けます。ただし、長く押し続けると切替りません。キーを押したら0.5秒以内に離してください。
- 表示されている曲の演奏を続けそのチャンネル内のすべての曲を順序不同に1回ずつ演奏した後、他のチャンネルに順序不同に移ります。
- シャッフル演奏表示LEDが消灯して連続演奏状態となります。

● シャッフル演奏中にできること

	スキップキーを押すと	スキップキーを押すと、演奏中の曲をスキップし、次のシャッフルに移り選曲して演奏します。
	バックスキップキーを押すと	バックスキップキーを一度押すと、いま演奏している曲の頭に戻ります。バックスキップキーを続けて二度押すと、前にかかっていた曲に戻り演奏を始めます。それ以前の曲には戻りません。
その他のキーを押すと	チャンネルキー	チャンネルを変え、シャッフル演奏を続けます。
	演奏/一時停止キー	演奏中は一時停止します。停止中なら演奏を開始します。
	停止キー	演奏中なら停止します。停止中は無効です。
	クイックロードキー	手動/カード切替スイッチが手動側にあるので、クイックロードキーは無効です。

シャッフル演奏について

- 曲番なしディスクのときはチャンネル内は連続演奏ですが、チャンネル間の移動は順序不同で替ります。
- ストップキーを押したり、コントロールタイマによりストップ入力を入れ停止させても、演奏した曲は覚えています。次に演奏させたときは前に演奏した曲は演奏しません。ただし、チャンネルキーを押したときは以前のチャンネルの演奏した曲は忘れず。

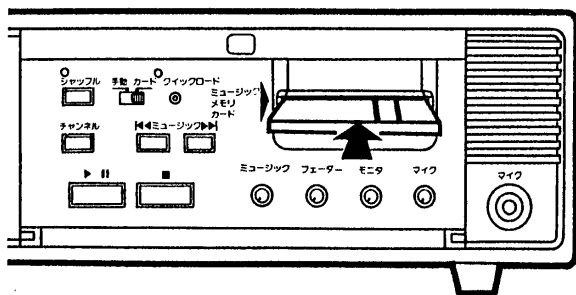
MMカードによる演奏

本機の機能を最大限に活用するためには、MMカードによる演奏が最良の方法です。下記の手順に従って、MMカードによる演奏をご活用ください。

MMカードはお客様のご希望に合わせて、ディスクカートリッジの演奏プログラムや、CM等の時間設定等を最長1週間の単位でプログラミングしたメモリカードです。従って、MMカードとディスクカートリッジとは1組のもので、他のディスクカートリッジと組み合わせてのご使用はできません。(MMカードとディスクカートリッジ内の内容が異なり正常な演奏ができません。)

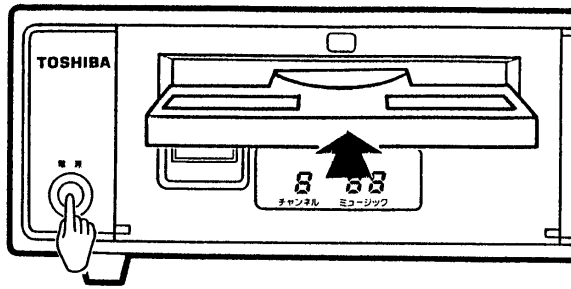
なお、詳しくはBGM協会会員社(別紙一覧表)へお問合せください。

(1) MMカードを挿入します。



- カードの裏表を間違えないように挿入してください。プログラムの実行中にMMカードを交換した場合、前のプログラムを実行し続けませんが、クイックロードキーを押すと新しく入れたプログラムを実行します。

(2)ディスクカートリッジを挿入し、電源を入れます。

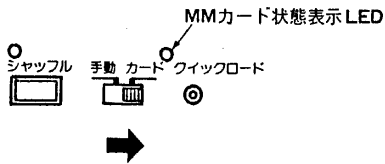


- 電源が入るとディスクカートリッジをイニシャライズ（ディスクの音楽データを読む作業）します。この動作は約10秒程で、新しく本体にディスクカートリッジがセットされた最初だけ行います。

ご注意 ディスクカートリッジが入っていないと **o u t** と表示されます。



(3)手動/カード切替スイッチをカード側にします。ミュージック 音量調節をお好みの音量に合わせておきます。



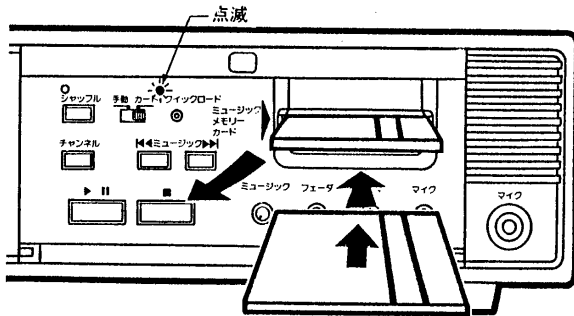
- カードが読み込まれるとMMカード状態表示LEDが点灯します。
- 翌日は新しいプログラムを実行させたいとき、前日のうちにカードを交換しておくこともできます。

(4)プログラムで指定した時間になると演奏を開始します。

■ MMカード演奏中に使用できるキー

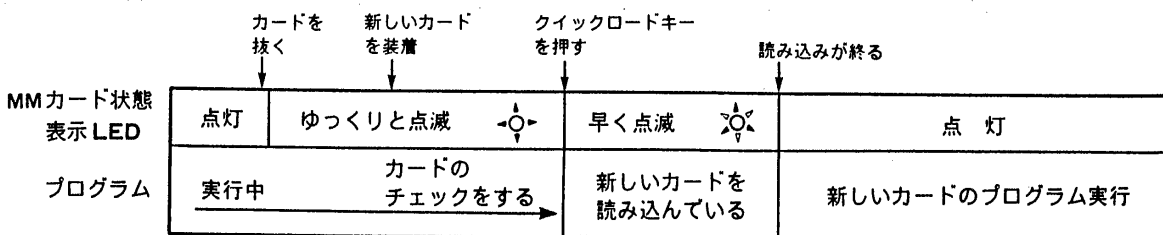
シャッフル 押しながら 送り 	内蔵時計の時刻を見ることができます。(17ページ)
シャッフル 押しながら 戻り 1回 ↓ そのまま + 戻り 2回	演奏中のディスクの経過時間を見ることができます。 演奏中のディスクの残り時間を見ることができます。 (17ページ)

■ MMカードの入れ替えについて



- カードを抜くとMMカード状態表示LEDが点滅し抜かれたことを示します。
- カードを入れると直ちにカードチェックを行いカードに異常があればエラー表示 {Er 20} を表示します。
- 同じカードの場合はLEDは点灯状態となりますが違うカードの場合は点滅を続けます。

■ 新しいカードに交換し新しいプログラムですぐにスタートしたいときのクイックロードキーの使いかた



- MMカードの内容は本機のメモリーに入り実行されます。
- 新しくプログラムされたカードに交換してそのままにしておくと午前0：00直前に自動的にプログラムの読み替えをして、翌日より新しいプログラムを実行します。また、翌日にまたがるプログラムを演奏中はプログラム終了後に読み替えます。(MMカード状態表示LEDは点滅から点灯に変わります。)
- 交換した直後より新しいプログラムで実行したいときは、クイックロードキーを押します。

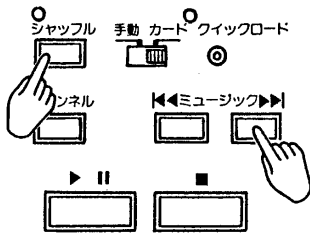
ご注意

- (1)手動/カード切替スイッチが手動側にあるときMMカード状態表示LEDは消灯します。
- (2)カードの読み込み中(MMカード状態表示LEDが早く点滅しているとき)はMMカードを抜きとらないでください。
- (3)MMカードの電池を抜かないでください。プログラムしてあるメモリが全て消えてしまいます。
- (4)MMカードは静電気、衝撃等に弱いので十分注意して取り扱ってください。

その他の操作

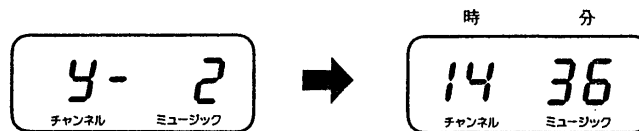
■内蔵時計の確認のしかた

- (1)シャッフルキーを押しながらスキップキーを押します。表示が「曜日」を示します。



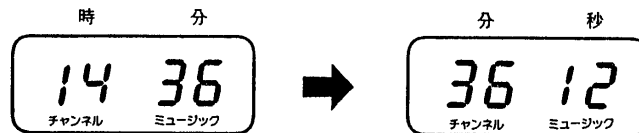
曲番表示が曜日表示に変わります。

- (2)シャッフルキーは押し続けたままでもう一度スキップキーを押します。
表示が「時間：分」表示に変わります。



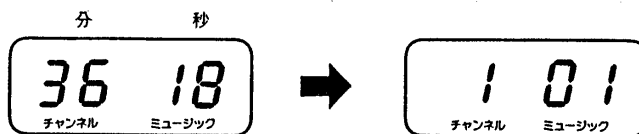
火曜日の表示が14時36分の表示になります。

- (3)シャッフルキーは押し続けたままでもう一度スキップキーを押します。
表示が「分：秒」表示に変わります。



14時36分の表示が36分12秒の表示になります。秒は1秒毎に足されます。

- (4)シャッフルキーを離すと、表示は曲番表示に戻ります。



時間表示が曲番表示に戻ります。

- (5)シャッフルキーを押し続けたままスキップキーを押すと、押す毎に表示は「曜日」→「時間：分」→「分：秒」→「曜日」と切り替わります。

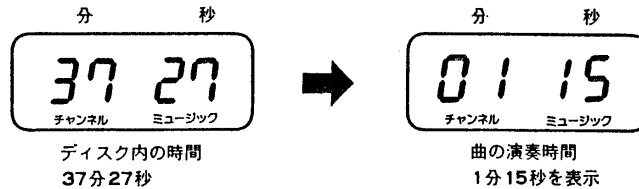
- (6)時間確認はマニュアル演奏中、カード演奏中のどちらでも確認できます。
ただしエラー発生中は時間表示はできません。

■曲の演奏経過時間確認のしかた

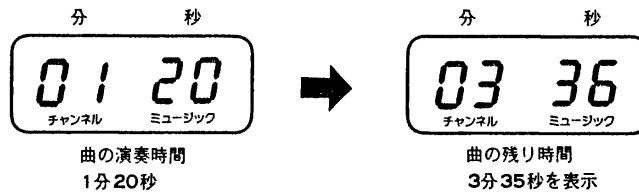
(1) シャッフルキーを押しながらバックスキップキーを押します。表示が「ディスク内の経過時間」を示します。



(2) シャッフルキーは押し続けたままでもう一度バックスキップキーを押します。表示が演奏中の「曲の経過時間」を示します。



(3) シャッフルキーは押し続けたままでもう一度バックスキップキーを押します。表示が演奏中の「曲の残り時間」を示します。



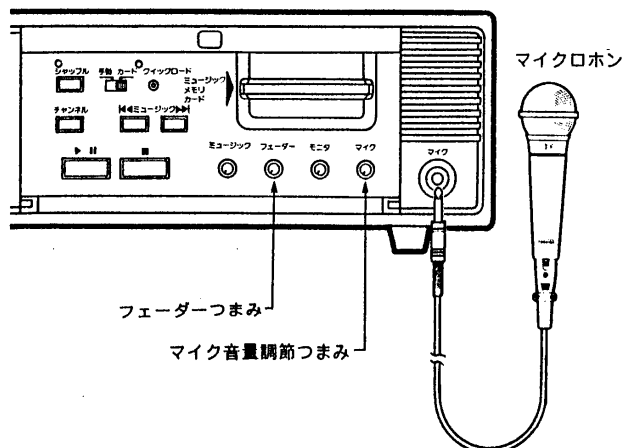
(4) シャッフルキーを離すまで時間の表示をします。またバックスキップキーを押す毎に表示が「ディスク内の時間」→「曲の経過時間」→「曲の残り時間」→「ディスク内の時間」と切り替わります。

ご注意

- (1) このとき「シャッフル演奏」と「連続演奏」の切り替えはしません。切り替えするときは1秒以内にキーを離してください。
- (2) CD-BGMディスクには、曲がディスク内のおよそ1分のところから始まっています。そのため「ディスク内の経過時間」は演奏開始時間より1分多くなります。
(連続演奏モードの場合「ディスク内時間」より1分引いた時間がディスクの演奏時間になります。)
- (3) 曲番なしディスクでは「曲の残り時間」は出ません。00分00秒を示します。
- (4) 曲の演奏時間の確認はMMカード演奏中にもできます。

マイク放送とフェーダーつまみの使いかた

●本機ではCD-BGM演奏中にマイク放送することができます。



- マイク音量は、マイク音量調節つまみにより適音に調節してください。
- マイク放送が入ると、CD-BGM音量（ミュージック）および外部入力機器の音量は自動的に小さくなり、マイク放送が終わると自動的に元の音量に戻ります。（音声オートフェーダー）
演奏中のBGMの音量の下がり具合はフェーダーつまみで調節してください。（9ページ参照）

エラー表示について

BGM-8100を操作中、何かの原因で操作が不可能になってしまうと、以下の表のような表示が表示窓に現れます。これらをエラーコードと呼び、それぞれにナンバーが付けられています。
エラーコードが出たときは、下のエラーコード表を見てエラーを解除してください。

エラーコード表

エラー表示	エラー内容	エラーの解除方法
Er 10 Er 11	内蔵時計のバックアップができませんでした。 カード演奏ができません。	内蔵時計を設定し直してください。(注1)
Er 20	正しいMMカードではありません。 電池がなくなった、もしくは静電気によるデータ破壊が考えられます。	正しく書き込まれたMMカードを入れます。 (ご契約のBGM協会会員社にご相談ください。)
Er 30	ディスクカートリッジ内に、演奏できるディスクがありません。	ディスク交換または本修理が必要です。 (注2)
Er 41	曲の演奏開始時もしくは演奏中に、演奏できなくなりました。	手動演奏時は演奏/一時停止キーを押します カード演奏時は、次のステップのプログラム時間がきたら自動的に解除します。
Er 50	カードで指定した曲がありません。 (チャンネルがない、1曲指定の曲がない。)	カートリッジの中のディスクに適合したMMカードを入れ、クイックロードキーを押します。次のプログラム時間がきたら自動的に解除します。

(注1) Er 10 の場合は手動演奏可能です。

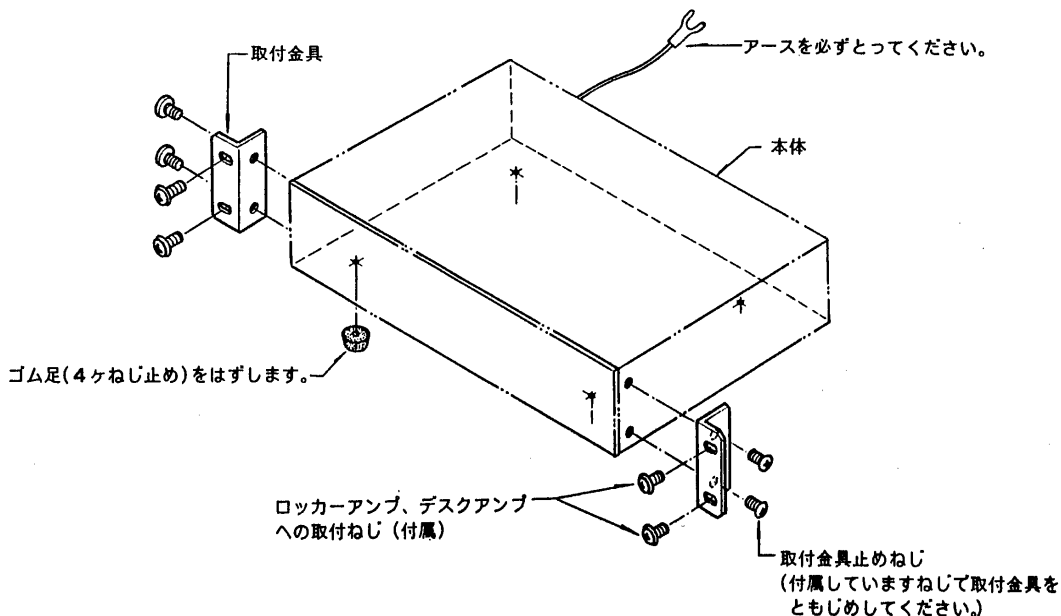
Er 11 がひんぱんに発生する場合は本機内部のバックアップ電池の寿命です。

(注2) "Er 30" "Er 41"

においてディスクを替えても再度エラーが出るときは、ピックアップの寿命が考えられます。

ロッカーアンプ、デスクアンプへの組み込みかた

●本機を EIA サイズのロッカーアンプやデスクアンプ等へマウントするときは付属の取付金具をご使用ください。



AGCスイッチについて

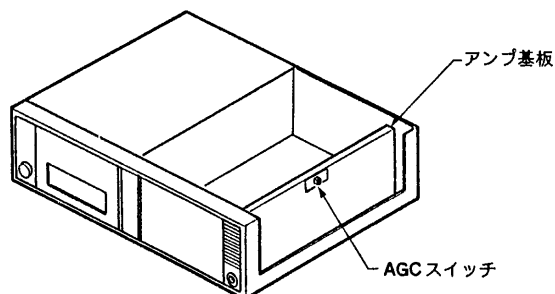
本機には、AGC(Auto Gain Control)機能が内蔵されています。

AGCは各ディスク間の音量のバラツキや、同じディスク内の曲の音量のバラツキを一定に保つためのものです。

(OFF、-10、-20dB)

ON/OFFの切り換えは、内部スイッチにより行います。

AGC内部スイッチは、機器内のアンプ基板上にあります。



修理サービス

(1)修理サービスについて

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名 (BGM-8100) およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

(2)故障診断について

故障かな?と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。下記事項をチェックして直らないときは、お買いあげの販売店または東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

症 状	原 因	処 理
スピーカから 音が出ない	ラインコードがつながれていないか、はずれている。	しっかり接続する。
	アンプの操作を間違えてはいませんか。	アンプを正しく操作する。
演奏が始まらない キーが効かない	ディスクカートリッジが入っていない。	カートリッジを入れる。
	カードにより演奏中	プログラム実行中は効きません。
プログラムどうり 演奏されない	MMカードの内容とディスクカートリッジが違う。	カードに合ったカートリッジを入れる。
	MMカードがきちんと入っていない。	カードをしっかりと入れる。
	手動/カード切替スイッチが手動側になっている。	スイッチをカード側にする。
プログラムを ロードしない	MMカードがきちんと入っていない。	カードをしっかりと入れる。
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチをしっかりと押し込む。
電源が入らない	ヒューズが切れていませんか。	ヒューズを交換する。
	電源がコンセントから抜けている。	電源プラグをしっかりと差し込む。
MMカードを読んだ後 演奏しない	ディスクカートリッジが入っていない。	ディスクカートリッジを入れる。
	MMカードのプログラムが間違っている。	プログラムの修正をする。
音が歪む 雑音が出る	ディスクやレンズの傷や汚れがひどい。	きれいに清掃する。
	接続が間違っている。	正しく接続する。
	テレビなどのノイズの影響を受けている。	ノイズの発生元を離す。

以上の項目に当てはまらない場合には、本機以外の原因も考えられますので、接続されている機器なども合わせてお調べください。

仕 様

電 源	AC 100V 50/60Hz	
消 費 電 力	⊕15W	
形 式	シングルディスク方式コンパクトディスクプレーヤー	
ディスク収納枚数	1 枚	
信号読取り方式	非接触光学式ピックアップ	
信号フォーマット	CD-DA 標準フォーマット CD-BGMフォーマット (レベルB)	
演 奏 時 間	1 時間/チャンネル (CD-BGM Bモード)	
演 奏 形 態	連続演奏 シャッフル演奏 プログラム演奏 (MMカード使用時)	
ラ イ ン 出 力	600Ω 不平衡 +12dBs (CD トップレベル) +10dBs (外部入力 0 dBs 時) ピンジャック (L、R、MONO) 周波数特性 20Hz~20kHz S/N比 90dB以上 (JIS-A) クロストーク 65dB以上 歪 率 0.08%以下 (CD-DA) 0.3%以下 (CD-BGM Bモード 1kHz)	
モニタスピーカ	φ45mm 70mW	
外 部 入 力	50kΩ 不平衡 0 dBs 可変 ピンジャック	
マイク入力	1kΩ 不平衡 -63dBs (6.3φ 3P)	
制 御 入 力	スタート入力 } ストップ入力 } 無電圧メーク接点(1秒以上) オープンコレクタ出力に適合 親時計入力 }	
制 御 出 力	動作中出力(連続) } ストップ出力(1.5sec) } オープンコレクタ DC 35V 0.1A (MAX) CMスタート出力(1.5sec) }	
内 蔵 時 計 精 度	±5秒/日以下 (通電時:電源同期) ±30秒/月以下 (電源オフ時:水晶発振)	
停 電 補 償 時 間	10日間 内蔵時計のバックアップ リチウム2次電池 VL2020/1HF	
使用温度範囲	+5~40℃	
外 形 寸 法	420(幅)×88(高)×277(奥行) (mm) (突起部除く)	
外 観 色 調	ブラックメタリック	
質 量	約7.0kg	
付 属 品	ラック取付金具…………… 1 式 取扱説明書…………… 1 部 ヒューズ0.8A …………… 1 本 BGM協会会員社一覧表…………… 1 部 CDカートリッジ …… 1 ケ 東芝お客様ご相談センター一覧表…………… 1 部 ピンプラグ…………… 2 ケ	
対応MMカード仕様 (適合品)	タイプ 周辺CMOS 8kバイトSRAMカード 外形寸法 54×86×3 (mm) 使用電池 リチウム電池 BR 2106 ²⁰¹⁶ またはCR2016 3V 電池寿命 5年 (本体電源オフまたは本体からはずした状態にて) 耐挿抜回数 5000回 MMカードは付属していません。	

